

事前質問・意見一覧表

4.防災力の強化

(1) 防災体制の強化

質問

No.	内容	担当課
1	<p>施策シート：P1 参考指標の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害協定について、災害時の食料・生活用品・エネルギーの供給、情報提供、情報網の確保、災害復旧など幅広く取り組み、46協定を締結している点は頼もしいところです。今後はどのような締結が必要と考えられるのでしょうか。 <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急的な一時避難施設からの避難者の移動手段に関する協定の締結を検討中です。 ・平成27年7月16日、捜索犬の出動に関する協定を締結しました。 	防災危機管理課
2	<p>施策シート：P2 02</p> <p>津波避難計画の検証・改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H27.3 印刷・配布とあるが、どこに配布されたか教えていただきたい。 <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波避難計画（正本：700部作成） …小・中・高校、防災関係機関等 ・津波避難計画（抜粋版：7,500部作成）…避難対象地域内に立地する全事業所 ・津波避難計画図（77,000部作成） …避難対象地域内の全戸 	防災危機管理課
3	<p>施策シート：P3 04</p> <p>安全・安心まちづくり推進協議会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強い防災のためには、この協議会の充実は重要なことと認識する。予算が増えているが、今後の事業展開の予定はどういうものになっているのか。 <p>【回答欄】</p> <p>今後も、各ボランティア団体等が安全で安心な「まちづくり」についての意見交換や情報共有を図る場として、防災・防犯・交通安全等をテーマとする講演や事例発表を行う協議会の開催を継続していく。</p>	防犯交通安全課
4	<p>施策シート：P3 05</p> <p>津波ハザードマップの改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業概要において、新たな津波シミュレーションに言及されています。新旧のシミュレーションの結果の違いとその対応について御説明願います。 ・津波ハザードマップの改訂に関連して、自宅や学校や職場以外でも、現在居る場所の津波浸水高や最寄りの避難所等をスマートフォンやタブレット等で確認できるように、津波ハザードマップのコンテンツ化はできないでしょうか。 <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浸水想定区域が大幅に拡大、浸水深もより大きいものになりました。 ・シミュレーションの結果に基づき、防災マップ、津波避難計画を改訂しました。 ・コンテンツ化の必要性について検討してまいります。 	防災危機管理課

No.	内 容	担当課
5	<p>施策シート：P4 06</p> <p>総合防災訓練・地区防災訓練の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪条件下（夜間の土砂降り状態の場合等）を想定した訓練は予定しているのでしょうか。 <p>【回答欄】</p> <p>悪条件下を想定した訓練は実施していないが、地域によっては、避難路の冠水などを想定し、別ルートでの避難路の設定なども検討する必要があると思われる。</p> <p>夜間の訓練については、高齢者や幼児などの場合、歩行中でも危険が伴うことから、まずは日中の訓練を習熟するべきであると考えます。</p>	防災危機管理課
6	<p>施策シート：P4 07</p> <p>災害図上訓練の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害図上訓練の内容と意義について教えてください。会議用のテーブル上で地図と対峙しているイメージを持ちますが、その効果について教えてください。 ・災害図上訓練（避難所運営訓練）は、どこで行っていますか。地域の避難所運営に関わる方の参加と実際の運営も考慮して、避難所となる施設で行うのが好ましいと考えます。 <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「現地」に代えて「地図」の上に、消防・警察・自衛隊等からの派遣人員とともに、被害状況や各部隊の活動状況を表示し、対策の検討や調整を行いながら訓練を進める方式 ・対策の検討や調整、意思決定など実務能力の実践的向上を図れるほか、各防災関係機関からの派遣を含め、大勢の要員・組織が、一堂に会して訓練することができることから、職員の防災対策能力の向上が図られる。 ・避難所との通信訓練も実施している。 ・平成27年7月13日、災害図上訓練を市庁別館 2 階 B・C 会議室での災害対策本部運営訓練及び、課執務室内からの避難所通信訓練を実施 ・平成27年8月30日、八戸市総合防災訓練時、三条小学校にて避難所運営訓練を実施予定 ・平成28年2月に、災害図上訓練（避難所運営訓練）を、市庁別館 2 階 C 会議室で実施予定 ・指定避難所と八戸市災害対策本部間で、年 1 回通信訓練を実施 	防災危機管理課
7	<p>施策シート：P7 13</p> <p>備蓄品目及び備蓄数の検証・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波避難ビルへの備蓄品購入とあるが、どれくらいの備蓄品を購入したのでしょうか。（何日分、人数など） <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難困難者数（約11,000人）の1食分を津波避難ビルへ備蓄した。 ・1食分＝非常食（ビスケット1袋）＋保存水（500mlペットボトル1本） 	防災危機管理課

No.	内 容	担当課
8	<p>施策シート：P8 16</p> <p>指定避難所の耐震化</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定避難所の耐震化とあるが、できあがるまでの代替施設、災害対策などの検討状況はどのようになっているのでしょうか。 <p>【回答欄】 (社会教育課)</p> <p>館・江陽公民館の町内会活動等は近隣の生活館や民間の施設等を利用いただいております。自主クラブ等は近隣の公民館等を利用いただいております。根城・是川公民館は新公民館建設後に旧公民館を解体する予定ですので、公民館活動に支障は無いものと考えております。</p> <p>(防災危機管理課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害時には地区町内会及び自主防災組織に対して、それぞれ明治小学校及び江陽小学校を指定避難所として開設する旨連絡済み。 	<p>社会教育課</p> <p>防災危機管理課</p>
9	<p>施策シート：P10 19</p> <p>福祉避難所の指定・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 「要援護者抽出チーム員研修会」とあるが、要援護者抽出チームの設置目的や活動内容はどのようなものか伺いたい。また、現在も存続しているのか伺いたい。 福祉公民館の敷地内には広い芝生地がありますが、有事の際の活用計画はありますか。また、活用されるとして道路側からの芝生地内出入り口は十分確保されていますか。 <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「要援護者抽出チーム」とは、災害時に指定避難所に出向き、指定避難所での生活が困難な高齢者や障がい者等の要援護者から聞き取りを行い、福祉避難所への移送が必要かどうか判断する市職員 2～3 人で編成するチームです。 移送が必要と判断した場合には、福祉避難所開設担当の福祉政策課と連絡を取り合いながら、福祉避難所への移送準備を行います。 毎年度の初めにチームを編成し、指定避難所との顔合わせやチーム員研修、市防災訓練において「福祉避難所移送への訓練」を実施し、災害時に有効に機能するよう備えています。 福祉公民館と福祉体育館は、「指定避難所」及び「福祉避難所」に、身体障害者更生館は「福祉避難所」に指定されていることから、避難者の駐車場等として利用することを想定しています。 道路側から芝生への直接の出入りはできませんが、柵を取り外すことで、駐車場側から出入りすることは可能となります。 	<p>福祉政策課</p>

No.	内 容	担当課
10	<p>施策シート：P11 24</p> <p>災害時における広報体制の検証・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪条件下（夜間の土砂降り状態の場合等）での広報体制の課題をお知らせください。 ・ほっとスルメールの加入促進啓蒙活動は、どのような内容や手法で行っていく予定かお知らせください。また、加入状況の推移をお知らせください。 	<p>防災危機管理課</p> <p>広報統計課</p>
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豪雨により、防災行政無線が聞こえないこと等が考えられることから、早め（明るいうち）の避難を呼びかけるとともに、テレビ、ラジオなどのマスコミの活用や、ほっとスルメール、市ホームページなどによる広報を考えている。また、深夜などの場合における情報伝達手段の検討を進めている。豪雨時の避難路の冠水等についても検討を要する。 <p>（防災危機管理課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや、転入手続きの際に、市民課からのチラシ配布、防災研修会やイベント等でのPRにより、加入促進を図る ・加入状況 H23年度末 30,337件、H24年度末 31,463件、H25年度末 33,128件 H26年度末 37,875件 	

意 見

No.	内 容	担当課
11	<p>意見への対応状況：P5 14</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市では、インターネット（フェイスブック、ツイッター、メルマガ、ホームページ等）を活用した各種情報発信を行っている。定期的な発信のできるメルマガは、防災減災・復興を含む市の動向など情報提供と啓発活動に有効と思われることから、更なる情報発信に努めていただきたい。 	<p>広報統計課</p> <p>防災危機管理課</p> <p>政策推進課</p>
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災、復興等に係る情報発信に当たっては、メールマガジンも活用するよう努めてまいります。 	
12	<p>施策シート：P3 03</p> <p>事業所等における業務継続計画の策定・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BCPの策定は災害時の対応として重要であると思われます。しかし、中小規模の事業者では単独でのBCPの策定が困難なところも多いことから、BCPの普及のためには行政による策定支援も必要と考えます。 	<p>商工政策課</p>
	<p>【回答欄】</p> <p>事業所等における業務継続計画の策定支援につきましては、震災後の平成24年度と平成25年度に青森県が主催し、青森、八戸、弘前を会場に、普及セミナーを実施しておりました。八戸会場では、延べ68名が参加しております。また県では、平成25年度にBCP策定を実践する「BCP策定塾」、BCP策定の指導を行うことのできる人材を育成する「BCP策定指導者育成講座」等を開催しております。</p> <p>平成26年度以降は、県内で特設セミナーなどは開催されておりませんが、当市ではホームページにBCP策定の重要性などを掲載しており、今後も普及啓発に努めてまいります。</p>	

No.	内 容	担当課
13	<p>施策シート：P3 05</p> <p>津波ハザードマップの改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> 津波ハザードマップの改訂にあたり、津波浸水の予想高を比較対象物を用いてお知らせした方が、危険度が伝わりやすいと考えます。(例えば4.8mは歩道橋と同等の高さなど) 	防災危機管理課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年3月に作成・配布した津波避難ハンドブックに記載済みです。 	
14	<p>施策シート：P4 06</p> <p>総合防災訓練・地区防災訓練の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 有事に備え、夜間の洪水・津波を想定した地域での避難訓練が必要と考える。 地域で抱える課題の解決からも、避難所に関わると想定される方の参加による図上訓練あるいは体験型訓練が必要であると考えます。 	防災危機管理課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> 夜間の訓練については、高齢者や幼児などの場合、歩行中でも危険が伴うことから、まずは日中の訓練を習熟するべきであると考えます。 避難所運営訓練については、図上訓練や実動訓練等を実施しており、地域の防災訓練については、今後も支援していく。 	
15	<p>施策シート：P5 08</p> <p>事業所における防災訓練の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災訓練は、民間事業所においても確実かつ反復的な実施が重要だと思われまます。同一地域の複数の事業所による防災訓練の実施など、行政も関与して確実な実施のための施策を検討する必要があると考えます。 	防災危機管理課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業所における訓練は、消防法第8条において、消火、避難訓練の実施が義務付けられており、訓練が実施される際は、管轄する消防署が出向し、指導している。 同一地域の複数の事業所における訓練については、消防本部等と協議し検討する。 	
16	<p>施策シート：P7 13</p> <p>備蓄品目及び備蓄数の検証・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難ビル備蓄品の確実なメンテナンスをお願いします。 	防災危機管理課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> 備蓄品の台帳を作成しており、それに基づき引き続き管理する。 	

No.	内 容	担当課
17	<p>施策シート：P15 施策を取り巻く課題や論点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P4 No.06のように総合防災訓練・地区防災訓練が行われていることは、市民一人ひとりの実地体験となり、常日頃の防災意識の醸成には欠かせないものである。限られた地域・組織内だけの災害対応では限界があり、関係機関・関連団体と連携することで自助・共助・公助の厚い、多層的な支援が可能になる。その点で、広域、多機関の総合的な多重連携を実現、確認できる防災訓練を適時実施していくことが望ましいのではないかと。 ・ 市民一人ひとりの防災意識の醸成とあるが、災害時要援護者登録者をはじめ、一人世帯高齢者を含む情報弱者と言われる市民に向けての防災意識の啓発が重要になってくる。そのための対応策が必要と思う。 <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年1回実施している八戸市総合防災訓練は、広域・多機関が参加する訓練である。 ・ 障がい者や高齢者等への対応が必要であるため、関係課と協議しながら進めていきます。 	防災危機管理課

(2) 水・エネルギー対策の充実

質 問

No.	内 容	担当課
18	<p>施策シート：P18 No.06</p> <p>LNG輸入基地計画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LNG利用拡大策及びLNG関連産業の誘致は進展していますか。 	産業振興課
	<p>【回答欄】</p> <p>LNG利用拡大策としまして、市では、環境負荷の低減に配慮した経営形態への転換促進を目的に、エネルギーシステム転換支援事業補助金を実施しており、平成26年度は2件の実績、今年度は5件程度の案件を見込んでおります。</p> <p>今後につきましても、LNGの利用促進を図りながら、LNG関連産業の誘致に取り組んでまいります。</p>	
19	<p>施策シート：P18 No.07</p> <p>節電・省エネルギーの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施状況において各年度の電力使用量の削減状況が示されています。このデータの対象は庁舎、あるいは八戸市全体となっているのでしょうか。市民の意識の結果として地域の省エネはどの程度実現できているのでしょうか。 	環境政策課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各年度の電力使用量の削減状況は、庁舎等公共施設全体をとりまとめたものです。 ・地域の省エネの取組については把握しておりませんが、震災を契機に節電や省エネに対する意識は高いと思われます。 	
20	<p>施策シート：P19 No.08</p> <p>新うみねこプランの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガスの削減、省資源及び省エネルギーの進捗状況と今後の課題についてお知らせください。 	環境政策課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新うみねこプランは市内から排出される二酸化炭素の削減計画であり、進捗管理として毎年度二酸化炭素排出量を算定しております。 ・市内における二酸化炭素の排出状況は、震災の影響により減少したものの平成24年度は製造業等の復興や火力発電の増加等の影響により増加しました。 ・二酸化炭素排出量は経済状況や電力事情に影響されやすく、省エネルギーの効果が見えづらいことが課題です。 	

意 見

No.	内 容	担当課
21	<p>施策シート：P20 11</p> <p>災害に強いまちづくり事業（電気自動車等購入費）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気自動車の普及率向上のためにも、市庁をはじめとする公共施設へ充電器の整備を実施していただきたい。 	環境政策課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時における燃料不足に対応するため、電気自動車は有効な機動力と考えます。 ・公共施設等への充電器の整備については、国の補助制度の活用も視野に入れ、充電器の導入を推進してまいります。 	

(3) 災害に強い地域づくり

質 問

No.	内 容	担当課
22	<p>意見への対応状況：P7 22</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災士には、社会の様々な場で減災と社会の防災力向上のための活動が期待されます。これらの方々には適時、力を発揮いただくことを願うところですが、どのような手立てが考えられるのでしょうか。 	防災危機管理課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市では、毎年、防災士会を通じて、市の総合防災訓練や学校での防災教育における講師を依頼するなど、防災士が活動する場を設けている。 ・また、市の助成を受けて資格を取得した防災士は、地域の自主防災組織で活動できることを条件としており、地域の防災訓練の際には、リーダーとして活躍していただいている。 	
23	<p>施策シート：P23 01</p> <p>災害ボランティアセンターの運営内容の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の予定に「災害時に活動をするボランティアの登録制度の検討（災害ボランティア活動支援補助制度の検討）」とあるが、登録制度及び補助制度の内容や実施時期等について、今の段階で話せることをお聞かせ願いたい。 	市民連携推進課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録制度及び補助制度の整備状況について、平成26年度に、当時の中核市及び特例市等（83市）の社会福祉協議会を対象に調査を実施。 ・各制度の内容や実施時期等については、導入の可否も含めて他都市の取組事例を参考に災害ボランティアネットワーク八戸をはじめ関係団体等と今後検討。 	
24	<p>施策シート：P24 03</p> <p>災害時要援護者支援事業の推進（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時要援護者登録者数についてH27をH26に対して比較すると、総人数が961名の増加（+25.4%）、ひとり暮らし高齢者が1,483名の減少（-52.4%）といずれも大きな変化を示しています。その要因は何でしょうか。 ・災害時要援護者登録者数について、一年間で大きな変化があるが、登録者数の内訳を知りたい。 	福祉政策課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年の改正災害対策基本法の施行に伴い、支援体制の実効性を高めるため事業の見直しを行い、対象となる可能性がある市民（28,000人）に制度周知を兼ねた名簿登録案内を送付したところ、登録者数が大幅に増加しました。直接周知の効果が表れたものと思われます。 ・また、ひとり暮らし高齢者の登録数の減少については、昨年度の事業見直しの一環で、「自力避難が困難と思われる要介護度や障がいの等級」と「生活の状況」に基づき支援方法を整理した結果、自力避難が可能な高齢者の登録が減少したためであると考えられます。 ・平成27年3月31日時点の内訳は、第三者の支援が必要な「A登録者」が1,525人、早めの情報提供で避難行動を促す必要がある「B登録者」が3,213人です。 	

No.	内 容	担当課
25	<p>施策シート：P25 06</p> <p>海を生かした地域づくり活動の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八戸港カッターレースでお世話になりましたが、このようなイベントは独立し資金的な面で助成金を複数年度連続でいただけないとなかなか立ち立できないのが現状です。この補助金は複数年度助成可能なのでしょうか。 	政策推進課
	<p>【回答欄】</p> <p>海のイベント助成金は、東日本大震災からの復興に向けた全市的な機運の醸成を図るため、市民団体等が行う海を生かしたまちづくりに寄与するイベントを支援する助成制度です。</p> <p>本制度は、市民の多様な活動を幅広く支援するため、公募型の助成とし、毎年度審査により補助事業団体を決定しておりますが、申請要件に過去の助成の有無を設けておりませんので、毎年度、申請が可能となっております。</p>	
26	<p>施策シート：P28 13</p> <p>八戸市体育館の改築の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災拠点機能を改築でどのように高めていくのでしょうか。かなり老朽化が進んでいますが改築と建替えの議論はあったのでしょうか。 	スポーツ振興課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年6月から耐震診断を実施し、12月頃に結果が出る予定である。 ・結果次第では、耐震補強や改築を検討することとなる。 ・その際には、防災拠点機能についても併せて検討することとなると思われる。 	
27	<p>施策シート：P29 19</p> <p>県外避難者の受入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外被災者で八戸市定住に結びついた方々へ、市として今後どのような対応・支援を考えていますか。 	防災危機管理課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度から毎年度、県外避難者の交流会等を開催しており、今後も継続していく。なお、本人から相談があれば、担当部署を紹介するなどの対応をする。 	

意 見

No.	内 容	担当課
28	<p>施策シート：P23 01</p> <p>災害ボランティアセンターの運営内容の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアセンター設置に当たっては、参加ボランティアの交通に配慮する必要があり、現地ボランティアセンター設置も検討していただきたい。また、ボランティアセンター運営マニュアルの充実を図っていただきたい。 	市民連携推進課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地ボランティアセンターについては、平成22年6月に市と社会福祉協議会が締結した「災害時におけるボランティア活動等に関する協定」において規定しており、災害の状況に応じて設置することとしている。 ・災害ボランティアセンター運営マニュアルについては、災害ボランティアネットワーク八戸をはじめ関係団体等の意見を参考に内容の改正・充実を図っていく。 	

No.	内 容	担当課
29	<p>施策シート：P26 07</p> <p>復興をテーマとするフォーラム・シンポジウムの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興フォーラムについては、防災減災の視点から、市内外に住む被災者の生活・置かれている地域の現状と課題という切り口から、市民生活目線の内容でアプローチすることも必要と考える。御検討いただきたい。 <p>【回答欄】</p> <p>今後、復興フォーラムを開催する際には、御提案の内容も含め、テーマ等を検討してまいります。</p>	政策推進課
30	<p>施策シート：P26 09</p> <p>アートのまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度も発言しましたが、なかなか知名度が上がりません。発信に工夫を凝らすべきではないでしょうか。 <p>【回答欄】</p> <p>アートのまちづくりについての市民への周知については、その取組について広報はちのへに隔月で掲載するなど周知を図っている。また、個別の事業については、チラシや広報はちのへ、新聞など紙媒体での案内のほか、市ホームページ、事業ごとのホームページ、フェイスブック等のインターネット、ラジオでも情報を得られるよう周知に努めている。</p> <p>また、南郷アートプロジェクトについては、今年度、過去に招へいしたダンスアーティストらが、八戸での合宿を企画し、滞在中に作品を発表するなど、県外からの注目度は高まってきている。今後は、南郷地域での周知に加え、様々な媒体を活用し、市内全域及び市外に向けて、周知活動を継続していきたい。</p>	まちづくり文化推進室

その他

意見

No.	内 容	担当課																
31	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民や観光客の安全確保から、中心街の様々な横丁や古い民家などを含めた防災・防火・初期消火等の安全対策、特に地面の段差や凸凹など緊急時の避難に備えた通路の整備が必要である。 <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域防災計画の中で、都市災害対策を推進していくこととしており、関係機関と協議しながら進めていきます。 	防災危機管理課																
32	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害による停電で信号機が止まることも十分考えられることから、停電を想定した避難訓練や交通整理など、民間企業や自主防災組織の協力も得た訓練も必要である。 <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インフラの障害、季節、時間帯など、様々な事態を想定した訓練の実施を検討する。 ・ 訓練には、地域の自主防災組織の全面的な協力をいただいている。 	防災危機管理課																
33	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校等の避難施設の整備に伴い、学校昇降口の一部バリアフリー化、校門や校門付近の道路の拡張、体育館と校舎の渡り廊下の整備が必要と思われるところがある。 ・ 各方面の避難所の整備が進むに伴い、現実的に避難所を活用する多様な人の視点に立った使える運営マニュアル作成に今後も努めていただきたい。 <p>【回答欄】</p> <p>(教育総務課)</p> <p style="padding-left: 20px;">スロープ設置状況</p> <table style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">小学校 47校中</td> <td style="padding-right: 20px;">23校</td> <td style="padding-right: 20px;">中学校 24校中</td> <td>10校</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・ 校舎のみ</td> <td style="padding-left: 20px;">14校</td> <td style="padding-left: 20px;">・ 校舎のみ</td> <td style="padding-left: 20px;">6校</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・ 体育館のみ</td> <td style="padding-left: 20px;">3校</td> <td style="padding-left: 20px;">・ 体育館のみ</td> <td style="padding-left: 20px;">2校</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・ 両方有</td> <td style="padding-left: 20px;">6校</td> <td style="padding-left: 20px;">・ 両方有</td> <td style="padding-left: 20px;">2校</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多目的トイレの設置状況や避難者の動線等を勘案し、必要に応じてバリアフリー化を検討したい。 ・ 車両での出入りについては、学校等の要望に応じて検討したい。 <p>(防災危機管理課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当市では、平成22年度に策定した「八戸市避難所運営マニュアル」を補完するものとして、地域の特性・状況に合わせた地域ごとの「避難所運営マニュアル」を作成・運用することが有効だと考えている。避難所運営の中心となる自主防災組織等が「避難所運営マニュアル」を作成する際には、各地域の実情に応じたマニュアルとなるよう、市が作成を支援している。 	小学校 47校中	23校	中学校 24校中	10校	・ 校舎のみ	14校	・ 校舎のみ	6校	・ 体育館のみ	3校	・ 体育館のみ	2校	・ 両方有	6校	・ 両方有	2校	教育総務課 防災危機管理課
小学校 47校中	23校	中学校 24校中	10校															
・ 校舎のみ	14校	・ 校舎のみ	6校															
・ 体育館のみ	3校	・ 体育館のみ	2校															
・ 両方有	6校	・ 両方有	2校															
34	<ul style="list-style-type: none"> ・ 暗闇対策として、市民に懐中電灯の携帯・常備を推奨することを検討してはどうか。 <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の全戸、全事業所に配布した津波避難ハンドブックに、非常持出品や備蓄品リストを掲載しており、その中で懐中電灯の常備を推奨している。 	防災危機管理課																